

工 事 番 号							
設 計 年 度	令和 7 年度		港町第 1 排水区舗装復旧工事（ 7 - 1 ） 公共下水道事業 三原市港町三丁目 仕 様 書				
施 工 月 日	令和 年 月 日						
施 工 方 法	請 負						
工 事 期 間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
舗装工 A=372m2 区画線工 L=3m 構造物取壊し工 一式							

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市港町三丁目 港町第1排水区舗装復旧工事（7-1） に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

- ・ **土木工事共通仕様書（令和6年8月）広島版**

※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

- ・ その他関連規格類

第2節 週休2日工事等

本工事は、週休2日工事の対象外とする。

第3節 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- 1 本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正をする工事とする。
- 2 受注者は、補正を希望する場合、監督員と協議すること。
- 3 工事の実施にあたっては「熱中症対策に資する現場管理費の補正の運用について」に基づき、行うこと。

第4節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
 - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
 - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
 - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

第5節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画
- 受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。
- 2 計画の掲示及び公表
- 受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。
現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。
https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm
- 3 実施書の提出
- 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。
- 4 工事現場の管理体制
- 受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

第2章 施工条件

第1節 用地

- 1 現場の復旧
- 原形復旧とする。

第2節 公害対策

- 1 事前・事後調査
- 調査区分

調査時期

調査内容

範囲
- 事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督職員と協議の上調査すること。
施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）
柱、屋根、壁、基礎、建具等の傾斜、損傷状況
別途協議による。
- 2 公害防止
- 施工方法

建設機械・設備

建設機械・設備
- 民家に隣接しているため、低騒音型機械を使用するものとする。
低騒音型機械
低騒音型機械

第3節 安全対策

- 1 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
作業期間、交通誘導警備員を4（人／日）配置すること。

第4節 工事用道路

- 1 一般道路
搬入経路 特に指定しない。
使用期間 工事施工期間
使用時間 8時30分～17時
工事中・後の処置 随時 清掃、工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督職員と協議すること。）

第5節 その他

- 1 工事用機資材の仮置き
場所 受注者が責任を持って管理すること。なお、借地料等については受注者の負担とする。

第3章 工事保険等

- 1 工事保険等
受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に参加しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。
- 2 法定外の労災保険 の付保
 - (1) 受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（以下「法定外の労災保険」という。）を付保しなければならない。
 - (2) 受注者は、建設工事請負契約約款第54条（火災保険等）に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又なこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
 - (3) 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第4章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- (1) 原因調査 監督員と協力して行なうものとする。
- (2) 補償交渉 監督員と協力して処理解決に当るものとする。
- (3) 応急処置 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。
- (4) 補償費用負担割合 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。

第5章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項又は、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員の指示を受けること。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
舗装		式		1	レベル1
舗装工		式		1	レベル2
舗装準備工		式		1	レベル3
不陸整正	補足材料有り	m2		363	レベル4
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスコン(20) t=5cm	m2		363	レベル4
薄層カラー舗装工		式		1	レベル3
薄層カラー舗装	RPN-301	m2		9	レベル4
区画線工		式		1	レベル2
区画線工		式		1	レベル3
溶融式区画線	実線_45cm	m		3	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	As舗装版	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版	m2		363	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	As舗装版	m3		25	レベル4

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻処分	As舗装版	m3		25	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * *					
* * 工事費計 * *					

$S=1/500$



鋪裝復旧面積 (A_s $t=5\text{cm}$)

合計	362.750m ²
----	-----------------------

區面線復旧 白実線 t=45cm

合 計	2.80	m
-----	------	---

カラー舗装(エンジン)

B-1	9.00	m2
-----	------	----

令和7年度 公共下水道事業（雨水）

工事名 港町第1排水区舗装復旧工事 (7-1)

工事場所	三原市港町三丁目
------	----------

図面番号	$\frac{1}{1}$	縮尺	図示
------	---------------	----	----

鋪裝復旧図

三原市

— 参 考 資 料 —

令和 7 年度

港町第1排水区舗装復旧工事(7-1)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-07.04.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	06 舗装工事 02 市街地(DID補正) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 03 補正しない		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
舗装					Y1E02 レベル1
	1	式			
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
舗装準備工					Y1E020401 レベル3
	1	式			
不陸整正 補足材料有り					Y1E02040101 レベル4
	363	m2			
不陸整正 補足材料有り RM-30 補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満					SPK24040231 00
	363	m2			単第0 -0001 表
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
表層(車道・路肩部) 再生密粒度アスコン(20) t=5cm					Y1E02040409 レベル4
	363	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm					SPK24040241 00
	363	m2			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
薄層カラー舗装工					Y1E020414 レベル3
	1	式			
薄層カラー舗装 RPN-301					Y1E02041405 レベル4
	9	m2			
樹脂系すべり止め舗装工 RPN-301 [規]100m2未満					SS000219 00
	9	m2			単第0 -0003 表
区画線工					Y1E0210 レベル2
	1	式			
区画線工					Y1E021001 レベル3
	1	式			
溶融式区画線 実線_45cm					Y1E02100101 レベル4
	3	m			
区画線設置(溶融式) 実線_45cm					SDT00001 00
	3	m			単第0 -0004 表
構造物撤去工					Y1E0112 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1E011206 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 As舗装版	18	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	18	m			SPK24040306 00 単第0 -0005 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版	363	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	363	m2			SPK24040305 00 単第0 -0006 表
運搬処理工	1	式			Y1E011216 レベル3
殻運搬 As舗装版	25	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破碎 D1D区間有り 運搬距離4.0km以下(3.0km超)	25	m3			SPK24040151 00 単第0 -0007 表
殻処分 As舗装版	25	m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
受入費 AS殻					F9001 00
	60	t			
仮設工					Y1E0215 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1E021521 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E02152101 レベル4
	1	式			
交通誘導警備員B					R0369 00
	16	人			
* * 直接工事費 * *					
#0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					

施工単価表

頁0 -0007

不陸整正

SPK24040231

単第0 -0001 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満

1

1

m2

当り

機械構成比: 16.68%

労務構成比: 49.70%

材料構成比: 33.62%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価: 172.51000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	8.14%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	6.45%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.09%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	31.83%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	9.28%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	6.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
再生粒度調整碎石 30～0mm	27.83%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPC00010 TTPT00008
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.79%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0008

不陸整正

SPK24040231

單第0 -0001 表

補足材料有り RM-30

補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満

1

m2 当り

機械構成比: 16.68%

勞務構成比：

49.70%

材料構成比: 33.62%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

172.51000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0009

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0002 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35%

労務構成比: 9.47%

材料構成比: 89.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,836.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0010

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.35%

SPK24040241

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 9.47%

材料構成比: 89.18%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0002 表

1

標準単価:

m2

当り

1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 C=6 G=1 I=1	平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) - -(全ての費用)		B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0011

樹脂系すべり止め舗装工

SS000219

單第0 -0003 表

RPN-301

[規]100m²未満

m2

当り

[illegible]

施工単価表

区画線設置(溶融式)

SDT00001

単第0 -0004 表

名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考
昼間_溶融式(手動)【手間のみ】 実線_45cm 時間的制約なし		1,000.000	m			
トラフィックペイント(JISK5665_3種1号) 溶融型(紛体状)ガラスビーズ含有量15～18% 白		1,785.000	kg			
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106～0.850mm		78.750	kg			
プライマー トラフィックペイント接着用		78.750	kg			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		76.650	L			
諸雑費		1	式			
*** 合計 ***		1,000	m			
*** 単位当たり ***		1	m			
A=1 C=4 E=1	昼間施工 実線_45cm アスファルトに設置の場合			B=1 D=1 F=1	白色 塗布厚t=1.5mm 時間的制約なし	
G=1 I=1	- -			H=1 J=1	- -(全ての費用)	

施工単価表

頁0 -0013

区画線設置(熔融式)

SDT00001

單第0 -0004 表

実線 45cm

m

当日

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 15.42% 労務構成比: 57.13% 材料構成比: 27.45% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040306
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0005 表
1 m 当り
標準単価: 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0015

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0005 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0016

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 31.76% 労務構成比: 62.64% 材料構成比: 5.60% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 590.65000

SPK24040305 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0006 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm破砕力550～980kN	21.93%		バックホウ用アタッチメント コンクリート圧砕装置(大割機) 開口幅735～850mm 破砕力550～980kN		MTPC00051 MTPT00051
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	9.83%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
運転手(特殊)	28.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.15%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.42%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	5.60%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=2 騒音振動対策必要 F=1 積込作業有り			B=1 障害等無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離4.0km以下(3.0km超)
労務構成比: 38.97%

単第0 -0007 表
材料構成比: 16.08%

1
標準単価: 1,569.20000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) D=18 運搬距離4.0km以下(3.0km超)		

鋪裝復數量計算

[illegible]

